

東京穀物商品取引所と鄭州商品交易所との覚書(MOU)の締結について

(2006年6月7日) - 東京穀物商品取引所(東穀取)と鄭州商品交易所(鄭州商取: Zhengzhou Commodity Exchange)は、本日、中華人民共和国鄭州市にて覚書を締結しました。

東穀取と鄭州商取は、今回の覚書の締結により、情報交換や市場開発を通じて協力関係の構築及びビジネス機会の拡大に着手する予定です。また、新規商品やサービスに関する研修会といった教育及びマーケティングの分野で協力することを計画しています。加えて、両取引所は新規商品の上場や取引要綱・取引手法の変更に関する情報を相互に提供することになっています。

窪田武(くぼた たけし)東京穀物商品取引所専務理事談話

「今回の覚書の締結は、アジア地域における先物取引所とのネットワーク構築という本所の計画の一環として行われました。鄭州商取は、綿花、小麦の農産物そして砂糖を上場し、現在中国における3つの商品先物取引所の一つであることから、近い将来、中国のみならずアジアの経済発展に十分に寄与することでしょう。今回の覚書の締結により、両取引所における今後の市場機能の向上と海外からの市場参加者の更なる拡大に期待しております。」

趙争平(Zhao Zhengping)鄭州商品交易所総経理談話

「東京穀物商品取引所が半世紀以上の歴史とそれに裏づけされた経験を有する取引所に対して、鄭州商品交易所は、計画経済から市場経済へ移行する状況下にある中国における新興先物市場ですが、現在、国家経済の発展に寄与しかつ促進する方法を模索しています。現在のところ、本所と東穀取はそれぞれ主に農産物商品を上場していますが、今回の覚書の締結は、鄭州商取にとって東穀取の経験とノウハウを導入する機会があるだけでなく、両取引所が協力して市場規模の拡大や両先物市場の機能を一層の充実を図ることができるでしょう。今回の締結により、互惠の原則に基づき、両取引所の協調関係が一層発展することを希望します。」

東京穀物商品取引所(東穀取)について

東京穀物商品取引所は、アジア地域における重要な農産物先物市場で、18世紀に堂島米市場と別に江戸で生れた米の先物取引の流れを引き継いで、19世紀の終わりに新しい法律に基づき国の許可の下に取引を開始した東京米穀取引所があった場所に1952年設立されました。東穀取は、大豆、アラビカコーヒー、とうもろこしをはじめ多種多様な商品を上場しています。2005年の年間出来高は、Non-GMO大豆は約1,100万枚、アラビカコーヒーが約560万枚をそれぞれ記録しました。2006年1月から5月までの合計出来高は8,682,212枚を記録しました。東穀取は会員組織による取引所で会員数は現在149を数え、また取引及び清算は1988年以降

コンピュータによるシステムで行われています。詳細な情報は本所ウェブサイト (<http://www.tge.or.jp>) をご参照下さい。

鄭州商品交易所（鄭州商取：Zhengzhou Commodity Exchange）について

鄭州商品交易所は、中国の3ヵ所ある先物取引所の1つとして1990年10月12日に設立されました。鄭州商取は鄭州穀物卸売市場を基盤とし、その後中華人民共和国国務院から中国最初の先物市場の設立認可を得て、1993年5月28日に取引を開始しました。鄭州商取は中国証券監督管理委員会より認可を受けた非営利の会員制の取引所で、現在の会員数は225名です。現在の上場商品は、小麦、綿花そして砂糖で、開所以来全ての取引はコンピュータによるシステムで行われています。2006年1月から5月までの合計出来高は10,081,548枚を記録しました。詳細な情報は鄭州商取ウェブサイト(<http://www.czce.com.cn>) をご参照下さい。

(お問い合わせ先)

東京穀物商品取引所

(日本語)

広報課次長 渡辺秀一

(英語)

国際課次長 小笠原メリアン

電話：03-3668-9321

FAX：03-3661-4496

鄭州商品交易所

(中国語)

Zhang Shubang, Director, R&D Department

電話：+86-371-6561-0128

FAX：+86-371-6561-1629

E-mail: sbzhang@czce.com.cn

(英語)

Lu Xin, Senior Manager, R&D Department

電話：+86-371-6561-1290

FAX：+86-371-6561-1629

E-mail: lvxin@czce.com.cn

以上